

郵産労ユ安府支第3号
2018年6月4日

安芸府中郵便局長
白砂 典文殿

郵政産業労働者ユニオン
安芸府中支部長
杉谷 宏幸

6月期要求書

標記について、下記のとおり要求書を提出しますので、誠意ある回答を求めます。

記

1. 郵便・外務1班の先日雇用した期間雇用社員が退職したので早期補充すること。
2. 郵便部のお中元期業務繁忙の計画（中元ゆうパック、かもめーる販売など）を明らかにすること。
3. ゆうパックの短期委託を例年より早めに雇用すること。
4. かもめーる販売について、「自爆」営業を誘発するような管理者・役職者からの行き過ぎた指導が無いよう節度ある営業を徹底すること。
また、JP労組掲示物の「週刊・JPC（中国地方本部発行の5月21日付け、490号）」の裏面では、外務営業について「繁忙期は業務運行の確保を優先」とし、「繁忙期に超勤が発生するような携行販売などの営業活動はやめましょう！」と書かれている。一方で、現場の班ミーティングでは営業活動の超勤可能の周知があるが当局の見解を明らかにすること。
5. 冷房計画を明らかにすること。また、冷房稼働期間以外でも、むし暑い時や気温の高い時は臨機応変に対応すること。
6. 熱中症対策を講じること。また、体調を崩しやすい時期でもあるので廃休・廃非や連続する超勤など無いよう対策を講じること。
7. 先般、中国支社から「集配体制の見直し取組の実施」と「外務作業における道順組立要員の活用の実施」の情報提供があったが、当局の検討・計画について明らかにすること。

以上。